

経済生活状況申告書

私の世帯の経済生活状況等は、下記のとおりであることを申告します。

2021年 10月 1日

| ※大学記入欄 | | | | | | | | | |
|-------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 学生番号 Student Number | | | | | | | | | |
| 申請者氏名 Applicant Name | | | | | | | | | |

1. 2021年度(2021年10月～2022年3月) [平均月額]

| 収入 | | | | 支出 | |
|---|----------------------------|-------------------------------|--|--|-----------|
| [TA] 円 決定・申請中 | [RA] 円 決定・申請中 | [チューター] 円 決定・申請中 | | 食費 ※過少金額は問い合わせる ことがあります。 | 円 |
| ※受給期間・採用時間数・受給金額等がわかる書類の写しを添付すること | | | | 住居費 □ルームシェア ※別紙5を提出すること □転居予定 月 ※転居後申し出ること | 円 |
| アルバイト収入(証明ができるもの) 勤務先: 期間: 年 月～ 年 月 勤務先: 期間: 年 月～ 年 月 ※別紙8-1、別紙8-2、源泉徴収票のいずれかを提出すること ※雇用契約書を提出する場合は、雇用期間、月の勤務予定時間、時給等がわかるものを提出してください。また、雇用期間が切れている書類は無効です。 | | | | 光熱水費 (内訳) 電気 _____ 円 ガス _____ 円 水道 _____ 円 ※合計7千円未満はそれを証明する領収書等を添付すること | 円 |
| アルバイト収入(証明ができないもの) 勤務先: 期間: 年 月～ 年 月 (例)海外での収入の証明が難しい、日本国内の収入だが証明書類を提出できない等 | | | | 通信費 ※携帯電話代など母国での支払いでも要記入 | 円 |
| 奨学金 私費留学生学習奨励費 期間: 年 月～ 年 月/月額 円/ 決定・申請中 奨学金名称: 期間: 年 月～ 年 月/月額 円/ 決定・申請中 奨学金名称: 期間: 年 月～ 年 月/月額 円/ 決定・申請中 ※直接応募等の大学を経由していない奨学金は採用決定通知書を添付すること | | | | 授業料 ※支出合計額に含めること 44,650 円 勉学費、書籍費 | 円 |
| 仕送り 続柄 借入 続柄 貯金 | | | | 通学費 | 円 |
| 配偶者の収入 勤務先: 期間: 年 月～ 年 月 奨学金名称: 期間: 年 月～ 年 月 ※仕事の場合は源泉徴収票等、奨学金は採用決定通知書等を添付すること | | | | 日常生活費 日用雑貨費・衣料費等 健康保険料・医療費 | 円 |
| その他 | | | | その他 | 円 |
| | | | | 合計 | 合計 |
| | | | | 円 | 円 |

[注意事項]

※この申告書は決定・予定(申請中含む)のものすべてを記載してください。記載内容に変更があった場合、10月中旬までに申し出てください。

- 日本での一般的な常識的生活を維持する収入及び支出を前提として、それぞれの月額を記入してください。
- 入学金は含めないで記入してください。
- 収入合計≧支出合計となるように記入してください。
- 収入は申請中のものも全て記入してください。
- 本学に通う同一生計者と収支が同額になるようにしてください。同一生計者が後期変更や後期のみ申請する場合は特に注意してください。

[例]支出予定月額150,000円

<収入予定>TA月額6500円申請中、奨学金月額10万円申請中、アルバイト月額5万円、仕送り月額10万円＝月額256,500円

<収入決定1>TA月額6,500円採用、奨学金月額10万円採用、アルバイト月額5万円、仕送り無し＝月額156,500円

<収入決定2>TA不採用、奨学金不採用、アルバイト月額5万円、仕送り月額10万円＝月額150,000円

※指導教員・当該学生の生活状況をよく知っている先生方へ

以下の1及び2について確認し、口に✓を入れてください。不適切な場合は、当該学生に修正指導をしてください。

1. 日本での一般的な常識的生活を維持する収入及び支出を前提として書かれている
2. 収入合計≧支出合計となるように記入されている

上記の通り、当該学生の経済生活状況(収入・支出)を確認しました。

(教員氏名)

